

Cyber Initiative Tokyo 2024

サイバーイニシアチブ東京2024

ご協賛のご案内

NIKKEI

NIKKEI BP

Ver.1.0

ご挨拶

謹啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は日本経済新聞社・日経BPに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ウクライナや中東など国際的に不安定な情勢が続く中、2024年は年初の台湾総統選、11月の米大統領選をはじめとして各国で選挙が行われる重要な年となります。その中で、Cyber Initiative Tokyo2023でもとりあげたフェイクニュースの問題や、サイバー攻撃の脅威は増えています。攻撃側の技術も進化していく中で、防御していくためには国同士、企業同士での議論のみでなく、産官学の垣根を越えてグローバルに連携し、強化を図っていく必要があります。

産業界ではChat GPTを筆頭にAIが様々な産業、職種に導入され効率化が期待される一方で、攻撃する側も加率的に進化してしまいます。日本国内を見ても警察庁によると2023年上半期のネットバンキングを利用した不正送金件数は2022年上期の16倍まで増加しました。企業は外部からの攻撃に備えるとともに、セキュリティクリアランス基準をはじめとした国の安全保障方針に沿った対応も求められます。セキュリティ担当者のみでなく、経営者も含めたセキュリティ意識の向上、情報のキャッチアップとともに関係者での議論が不可欠となっています。

こうしたなかCyber Initiative Tokyoでは、業界横断、官民連携、グローバルを柱に据え、国内外のセキュリティー分野の有識者を招いて、経営や政策、法制度、技術などに関してオープンな議論を展開。企業経営層や政府関係者との情報共有を促進します。議論の内容は日本語と英語でオンライン配信し、サイバーセキュリティの最新トピックスを海外に向けても発信していきます。

何卒本企画書をご高覧の上、ご賢察賜りますようよろしくお願い申し上げます。

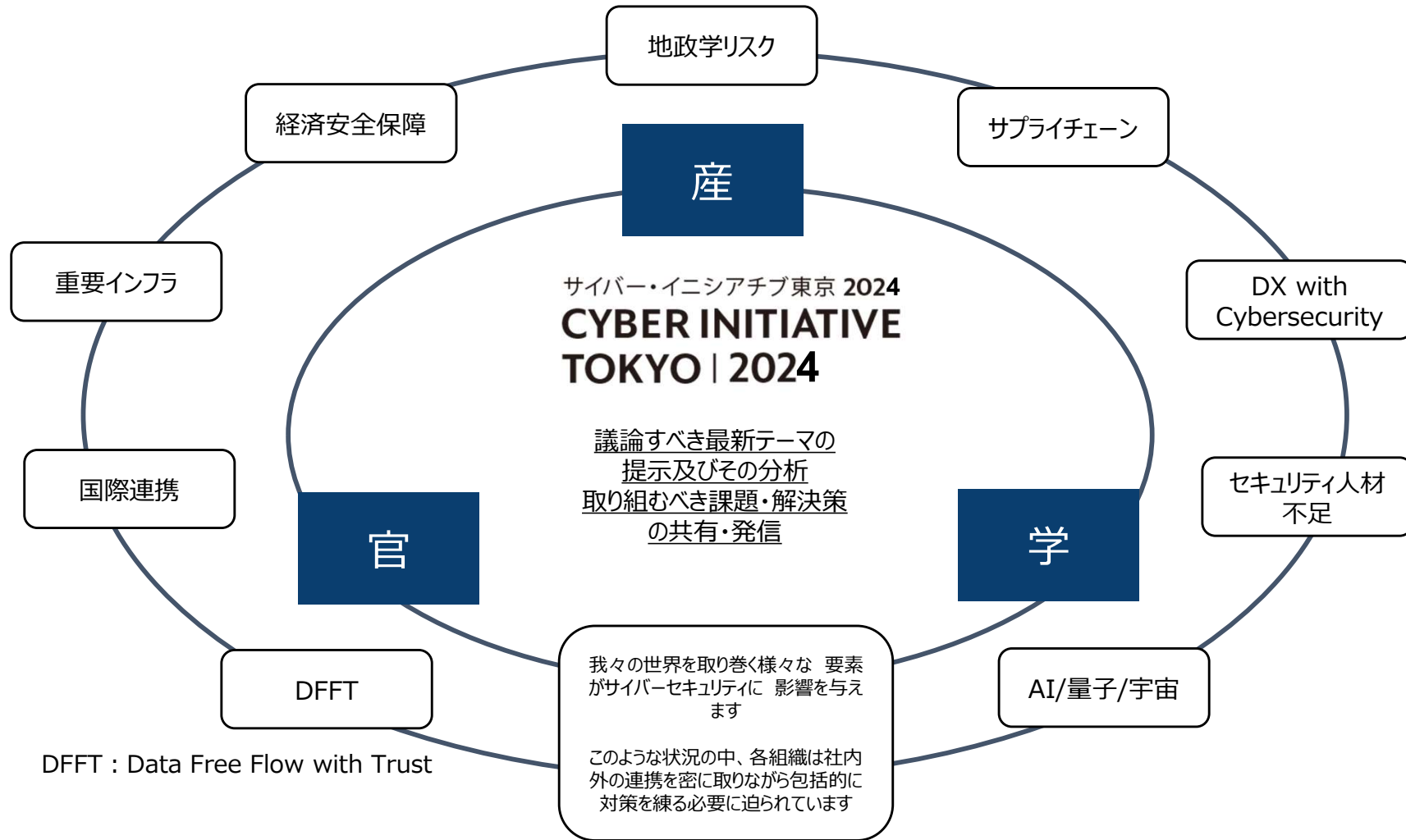
謹白

2024年
日本経済新聞社
日経BP

Cyber Initiative Tokyoの開催目的

我々は産官学が一体となって様々な脅威に対する対応策を討議していくことが今後ますます重要になると考えています。

Cyber Initiative Tokyoでは各界の有識者が内外から集い、様々な専門的見地から対応すべき問題について議論を深めます。



この場にご参加いただくことで、各界の専門家とのネットワークを構築できます。サイバーセキュリティに関する知見や取り組みを発信いただくことでブランド力の向上やリードジェネレーションにつながります

Cyber Initiative Tokyo 2024 開催概要

- 主催:日本経済新聞社、日経BP
- 協力（予定）:一般社団法人 日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会
慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート
- 開催日:2024年11月26日(火)・27日(水)
- 開催形態:全セッションオンライン配信(状況に応じて一部聴講者招待)
- 配信会場:大手町三井カンファレンス
- 聴講料:無料
- 参加者想定数:4,000名

Cyber Initiative Tokyo 2024の3つの特色

1

産学官のトップが参画する「ステアリングコミッティー」でのプログラム策定による質の高い参加者の獲得

サイバーセキュリティ分野の産学官のトップが参画する「ステアリングコミッティー」にてプログラム内容や企画を行います。ステアリングコミッティーにはゴールド以上の協賛企業様も参加頂けます。



2

海外からの登壇者招聘や海外向けに配信も行うグローバルイベント

日経グループのネットワークを活かして海外の政府機関や企業トップも登壇者として招聘します。また、海外向けに英語による配信も行っており、海外からの視聴者数が凡そ半数を占めております。



3

日経グループ媒体でのプロモーションとメディア露出

日経グループの関連媒体を中心にプロモーションを実施いたします。また、会期後にはレビュー記事の掲載も行うことで、購読者へのPRにも繋がります。



1

産学官のトップが参画する「ステアリングコミッティー」でのプログラム策定による質の高い参加者の獲得



サイバーセキュリティ分野の産学官のトップが参画する「ステアリングコミッティー」にてプログラム内容や企画を行います。

ステアリングコミッティーにはゴールド以上の協賛企業様も参加頂けます。

Cyber Initiative Tokyoの特色 1 ステアリングコミッティ

会の開催前より産官学の代表者によるステアリングコミッティを開催。プログラムの策定や議論の方向性などを事前に協議することを通じ、当日の議論が目指すビジョンを共有いたします。ゴールドスポンサー以上のご協賛でご要望あればステアリングコミッティに参加いただき、有識者間でのネットワークを構築いただくことが可能です。参加可能な人数に限りがございますので詳しくはご相談ください。

2023開催 ステアリングコミッティの主なメンバー（敬称略）

氏名	所属・役職
村井 純	慶應義塾大学 教授
山内 智生	総務省 サイバーセキュリティ統括官
熊谷直樹	外務省 サイバー政策担当大使 兼 総合外交政策局審議官
上村 昌博	経済産業省 サイバーセキュリティ・情報化審議官
中西礎之	防衛省 サイバーセキュリティ・情報化審議官
佐野朋毅	警察庁 長官官房審議官（サイバー警察局担当）
坂 明	デジタル庁 情報セキュリティ管理最高責任者
三角 育生	東海大学 情報通信学部長 教授
中溝和孝	内閣サイバーセキュリティセンター 副センター長 内閣審議官
梶浦 敏範	日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会 代表理事
中谷 昇	LINEヤフー株式会社上級執行役員、Chief Trust& Safety Officer
土屋 大洋	慶應義塾大学 教授

前回 Cyber Initiative Tokyo 2023 開催概要 (プログラム)

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day1 December 7

10:00 - 10:20

オープニングセッション

持続可能で復元力のあるデジタル社会へ
サイバーリスクへの備えとトラストの構築



村井 純
慶應義塾大学
教授

撮影:村田和聡

10:30 - 11:15

サイバーセキュリティ戦略の下での官民連携

サイバーリスクの高まりを受け、各国・地域がそれぞれの「サイバーセキュリティストラテジー」を作成している。それぞれの内容の特徴は何か、その枠組みの中で企業などの組織や個人はどう振る舞えばいいのか、さらには「能動的サイバー防御」はどうあるべきか議論する。※使用言語：英語
(日本語同時通訳あり)



タネル・セップ
エストニア
サイバー外交特命大使



ブレンダン・ダウリング
オーストラリア
サイバー問題・重要技術担当大使



マイケル・ダニエル
Cyber Threat Alliance
プレジデント兼CEO



パトリック・ポーラック
カーネギーヨーロッパ
客員研究員



横浜 信一
サイバーセキュリティ戦略本部 重要インフラ専門調査
会委員/
NTTグループCISO/NTTセキュリティホールディングス
CEO



モデレーター
石月 英雄
外務省 サイバー政策担当大使
兼 総合外交政策局審議官

前回 Cyber Initiative Tokyo 2023 開催概要 (プログラム)

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day1 December 7

11:25 - 12:10

デロイト トーマツ サイバー

企業、社会のデジタル活動に求められるトラストの構築。
そこに必要不可欠なアイデンティティ



大森 潤

デロイト トーマツ サイバー
マネージングディレクター

13:10 - 13:55

経営戦略としてのサイバーセキュリティ、CISOが2024年にすべきこと

サイバーセキュリティが重要な経営課題になる中、ビジネス戦略とサイバーセキュリティ戦略を結びつけるCISO（最高情報セキュリティ責任者）の役割がますます重要になっている。DXを推進するには“守り”を固めて停滞するのではなく、“攻め”のセキュリティ対策でビジネスの成長を支えることが求められる。これからのCISOが果たすべき役割は何か。CISOが直面している課題、そして2024年に優先すべき事項は何か。第一線で活躍するCISOが本音で議論する。



モデレーター

梶浦 敏範

日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会
代表理事



志済 聡子

中外製薬
上席執行役員
デジタルトランス
フォーメーションユニット長



野見山 雅史

デロイト トーマツ サイバー
COO/Deloitte Greenhouse CISO Transition Lab
Owner



樋口 正也

ペイシアグループソリューションズ 代表取締役社長
ペイシアグループ CDO/CIO

前回 Cyber Initiative Tokyo 2023 開催概要（プログラム）

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day1 December 7

15:15-15:30

スペシャルスピーチ



西村 康稔

経済産業大臣／原子力経済被害担当／GX実行推進担当／産業競争力担当／ロシア経済分野協力担当／内閣府特命担当大臣（原子力損害賠償・廃炉等支援機構）

スペシャルスピーチ



木原 稔
防衛大臣

15:30 - 16:10

スペシャル対談

サイバーセキュリティの極めて重要な鍵を担うサイバー・レジリエンス

地政学リスクの増加やハイブリッド戦争の勃発は国だけでなく企業にも大きなサイバーリスクを突きつけています。国家を背景にした高度で執拗な攻撃を完全に防ぐのは難しく、侵害を受けてもいかにビジネスを継続させるかが極めて重要です。企業のレジリエンス（回復力）の確保について、イスラエルの国営防衛企業のサイバーセキュリティ担当副社長が語ります。※使用言語：英語（日本語同時通訳あり）



エスティ・ベン

イスラエル航空宇宙産業 - IAI
サイバー部門副社長兼ゼネラルマネージャー

モデレーター



寺岡 篤志

日本経済新聞
編集局
ビジネス報道ユニット記者

前回 Cyber Initiative Tokyo 2023 開催概要（プログラム）

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day1 December 7

17:35 - 18:20

最新テクノロジーがもたらす新たな機会と脅威

技術の進化は、我々に多くのメリットをもたらす反面、負の側面も持ち合わせている。例えば、生成AIはビジネスに恩恵をもたらすが、同時にサイバー攻撃者が悪用すればより精度の高い攻撃が可能になる。メタバースの普及はサイバーセキュリティの観点では企業に重大なリスクをもたらす危険性がある。量子コンピューティング技術や宇宙技術も同様である。最新テクノロジーが社会に与えるインパクトと、サイバーセキュリティの観点からのリスクについて議論する。

※使用言語：英語（日本語同時通訳あり）



撮影:村田和聡

モデレーター

村井 純
慶應義塾大学
教授



伊藤 穰一
デジタルガレージ
共同創業者 取締役
学校法人千葉工業大学 学長



マダン・M・オベロイ
技術革新担当
エグゼクティブ・ディレクター
インターポール



篠田 佳奈
BLUE
代表取締役

前回 Cyber Initiative Tokyo 2023 開催概要 (プログラム)

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day2 December 8

9:30 - 10:15

セキュリティクリアランスの本質に迫る

2022年末に改定された国家安全保障戦略では、「主要国の情報保全の在り方や産業界等のニーズも踏まえ、セキュリティ・クリアランスを含む我が国の情報保全の強化に向けた検討を進める」と明記されている。本セッションでは、なぜ今、セキュリティ・クリアランスに注目が集まるのか解き明かすと共に、民間企業への影響や、この環境の中でどう振る舞えばいいのかを議論する。



有本 真由
アレシア国際法律事務所
代表弁護士



飯田 陽一
内閣審議官 (国家安全保障局)
(併) 内閣府政策統括官
(経済安全保障担当)



モデレーター

三角 育生
東海大学
情報通信学部長
教授



梶浦 敏範
日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会
代表理事

11:20 - 12:20

サプライチェーン防御2024

サイバーリスクへの備えは自社のシステムだけでは十分ではない。攻撃者は、子会社や海外拠点、さらには取引先までも狙うからだ。いわゆるサプライチェーン攻撃だ。最近では、自社システムあるいは製品に組み込まれるソフトウェアにもサプライチェーンリスクは潜む。本セッションでは、サプライチェーンを対象とした攻撃の最新状況を共有し、その対策を議論する。



小原 圭介
中外製薬
デジタルトランス
フォーメーションユニット
ITソリューション部長



勝部 祐一
近畿レントゲン工業社
取締役
経営統括室 室長



モデレーター

上村 昌博
経済産業省 大臣官房
サイバーセキュリティ・
情報化審議官



相馬 敦史
デロイト トーマツ サイバー
マネージングディレクター

前回 Cyber Initiative Tokyo 2023 開催概要 (プログラム)

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day2 December 8

13:30-13:40

スペシャルスピーチ
AI犯罪のリスクと対策



トム・トゥーゲンドハット
英国国務大臣
(安全保障担当大臣)

13:40-14:00

スペシャルスピーチ



鈴木 淳司
総務大臣

スペシャルスピーチ



河野 太郎
デジタル大臣・サイバーセキュリティ担当大臣

スペシャルスピーチ



辻 清人
外務副大臣
(サイバー政策を所掌)

前回 Cyber Initiative Tokyo 2023 開催概要 (プログラム)

主催者企画では以下のような登壇者に講演いただきました。

Day2 December 8

16:45 - 17:30

ランサムウェアとインフラ危機に備える

ランサムウェアによる攻撃が止まらない。2023年は社会保険労務士向けクラウドサービスや港湾のコンテナ管理用システムがその対象となった。本セッションでは、最新の事案から何を学べばよいか識者が解説するほか、どのように対処すればよいか議論する。



モデレーター

櫻澤 健一

日本サイバー犯罪対策センター (JC3)
業務執行理事



森井 昌克

神戸大学大学院
工学研究科教授



森藤 祐史

大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター
医療情報部



古田 朋司

日本自動車工業会 総合政策委員会
ICT部会 サイバーセキュリティ分科会 会長

17:35 - 17:55

クロージングリマーク



モデレーター

村井 純

慶應義塾大学
教授

撮影:村田和聡



中谷 昇

セーフティーインターネット協会
副会長
インターポールIGCI初代総局長



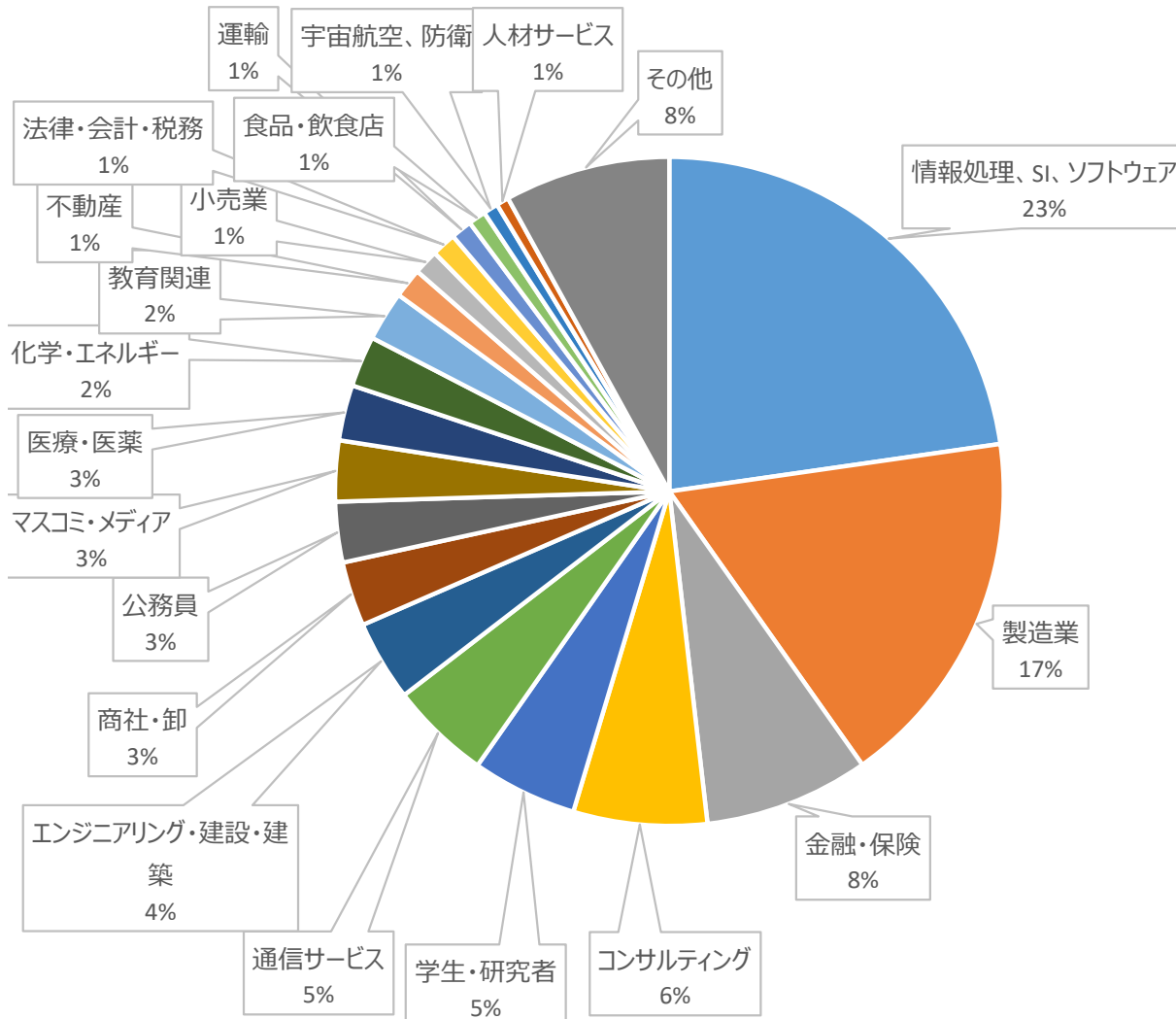
山内 智生

総務省 サイバーセキュリティ統括官 (最高情報セキュリティ責任者)

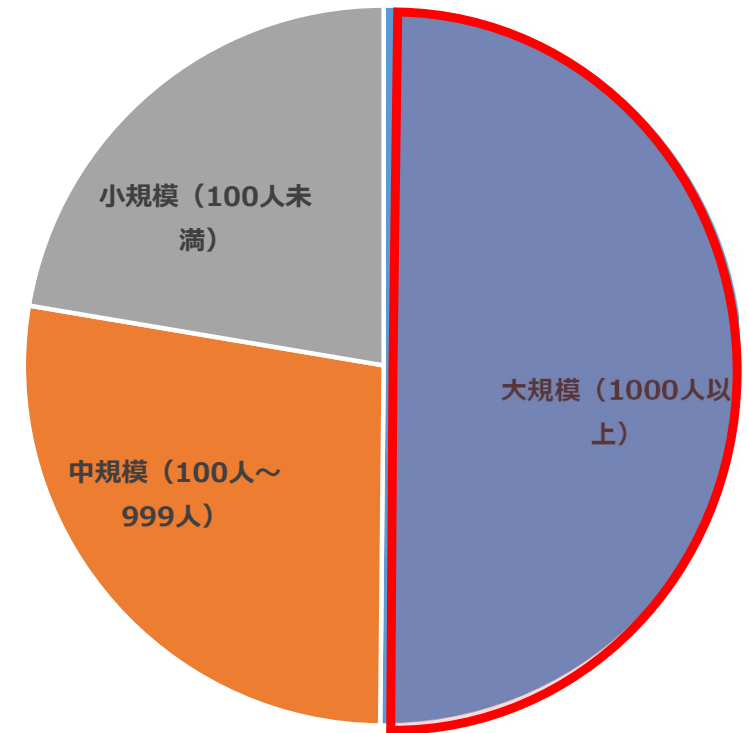
前回 Cyber Initiative Tokyo 2023 登録者属性

従業員規模1000名以上の所謂**大企業からの参加が約5割**を占めました。

業種

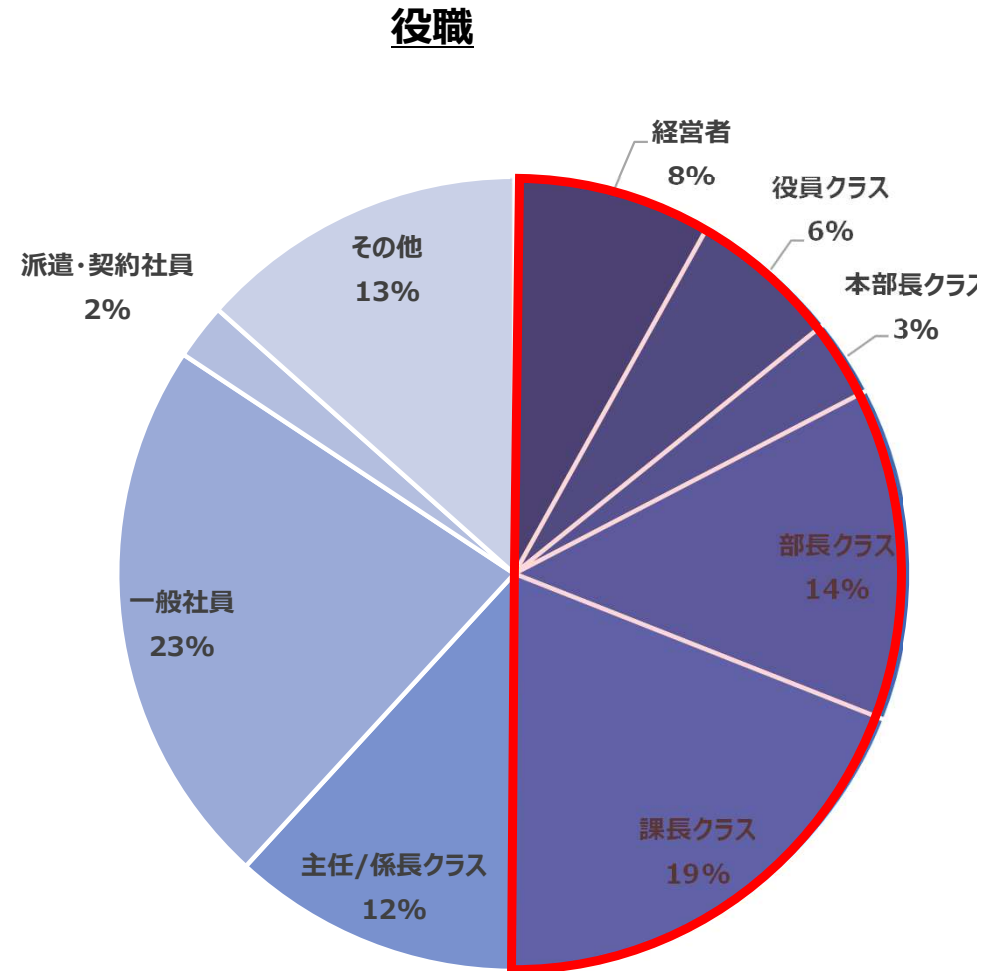
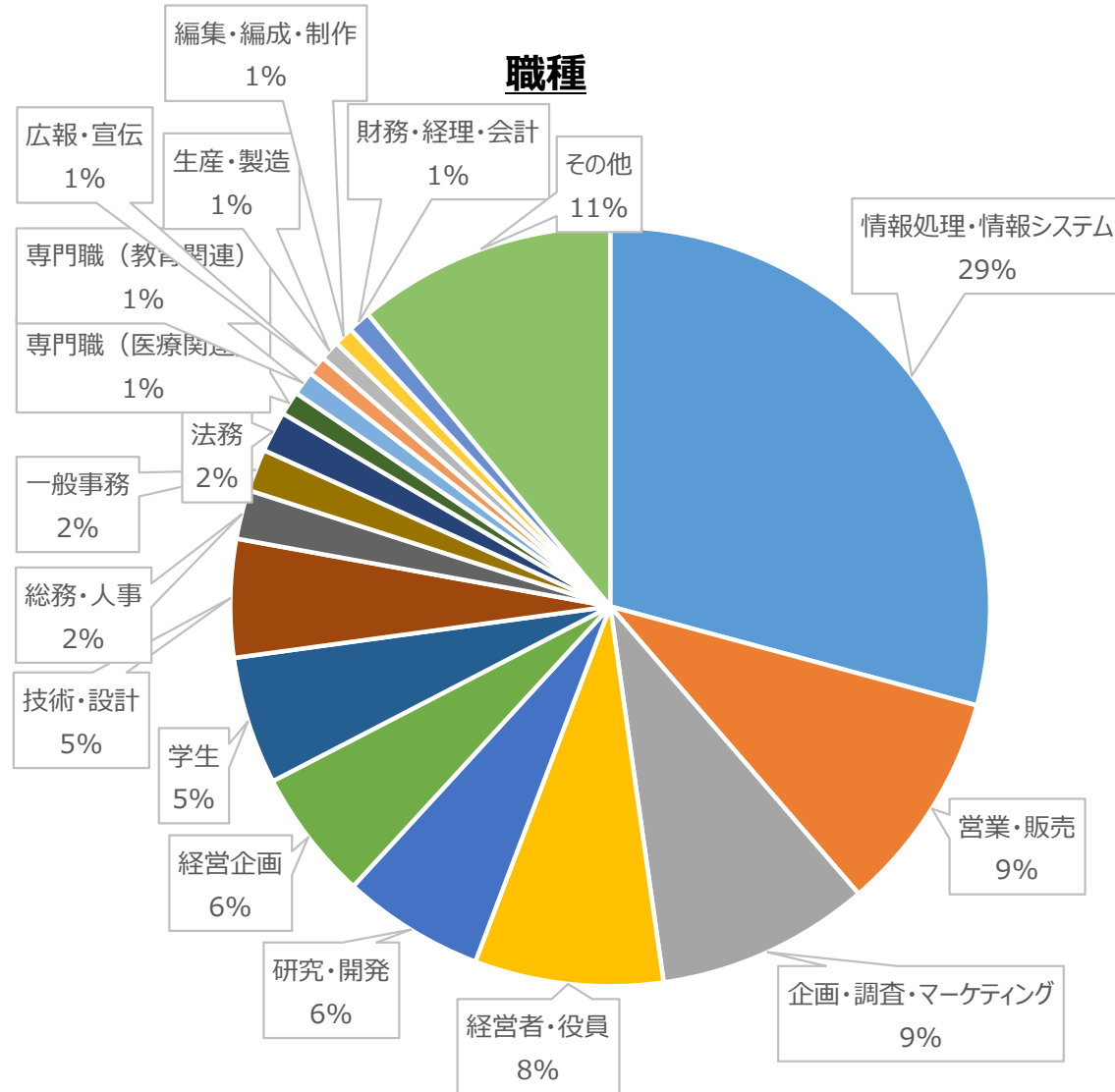


会社規模(従業員数)



前回 Cyber Initiative Tokyo 2023 登録者属性

50%以上が課長以上の役職者です。



2

海外からの登壇者招聘や海外向けに配信も行うグローバルイベント



日経グループのネットワークを活かして海外の政府機関や企業トップも登壇者として招聘します。

また、海外向けに英語による配信も行っており、海外からの視聴者数が凡そ半数を占めております。

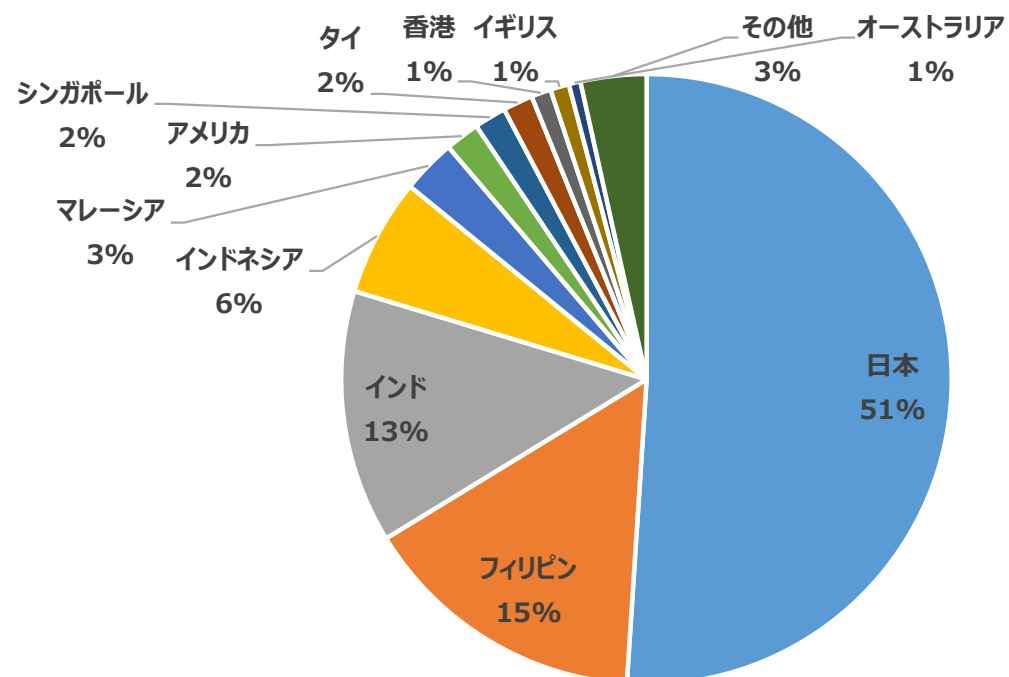
前回 Cyber Initiative Tokyo 2023 開催概要

- ◇開催日：2023年12月7日（木）、8日（金）
- ◇全編オンライン配信
- ◇主催：日本経済新聞社、日経BP

事前登録者数	
国内	1,744名
国外	1,674名
合計	3,418名

視聴数	
Day 1	2,622 UD
Day 2	1,775UD

◇国・地域



海外からの視聴者数が約半数を占めております。

3

日経グループ媒体でのプロモーションとメディア露出



日経グループの関連媒体を中心にプロモーションを実施いたします。

また、会期後にはレビュー記事の掲載も行うことで、購読者へのPRにも繋がります。

Cyber Initiative Tokyo2024の特色3 日経グループ媒体でのプロモーションとメディア露出

日本を代表する経済論壇である日本経済新聞・日経ビジネスのほか、国際発信力を有するメディア「Nikkei Asia」にそれぞれ掲載。
国内外のオピニオンリーダーに多角的かつ重層的に訴求致します。

日本経済新聞

このスクリーンショットは、日本経済新聞のウェブサイトの複数の記事ページを示しています。主要な見出しには「深刻化するサイバー攻撃」、「防衛対策へ国際連携を」、「リスク管理・復元力がカギ」などが含まれています。また、「NATOなどと協定推進」や「専門家、官民でローテを」などの記事も見えます。下部には「サイバーイニシアチブ東京 CYBER INITIATIVE TOKYO 2023」のロゴとスポンサー企業のロゴ（Deloitte, IBM, Cisco, etc.）が並んでいます。

2024年1月16日付 日経朝刊

日経ビジネス

このスクリーンショットは、日経ビジネスのウェブサイトの「Cyber Initiative Tokyo 2023」のイベントページです。メインの見出しは「持続可能で復元力のあるデジタル社会へ」で、サブタイトルは「サイバーリスクへの備えとトラストの構築」です。下部には「PARTNER CONTENT」のロゴと、Deloitte, IBM, Cisco, ServiceNow, Palo Alto Networks, Trend Micro, McAfee, Zscaler, Securus, etc. のロゴが並んでいます。

このスクリーンショットは、日経ビジネスのウェブサイトの「How are small organizations being asked to play a role in CISO?」（どんな小さな組織も求められるCISOの役割とは？）というパネルディスカッションのページです。記事本文と参加者の写真が掲載されています。

2023年2月19日号 日経ビジネス

このスクリーンショットは、Nikkei Asiaのウェブサイトの「Cyber Initiative Tokyo 2022」のイベントページです。見出しは「Confronting Emerging Cyber Risks In Our Increasingly Complex Hybrid Society」です。下部には「PARTNER CONTENT」のロゴと、IBM, Deloitte, IBM, Trend Micro, McAfee, Zscaler, Securus, etc. のロゴが並んでいます。

このスクリーンショットは、Nikkei Asiaのウェブサイトの「Cyber Initiative Tokyo 2022」のイベントページで、スピーカーのリストが掲載されています。スピーカーには「Deloitte Executive Director」、「IBM Japan」、「ServiceNow」、「Palo Alto Networks」、「Trend Micro」、「McAfee」、「Zscaler」、「Securus」などが含まれています。

NIKKEI Asia
2023年3月中旬公開予定



Cyber Initiative Tokyo2024 ご協賛について

Cyber Initiative Tokyo 2024 スポンサー特典

※ご講演内容に関しては、ステアリングコミッティおよび事務局協議のうえ決定いたします。

ダイヤモンド・スポンサー

- 本会議セッションでの単独ご講演枠（45分）をご提供いたします
- 本会議パネルディスカッションに協賛社関係者1名のご登壇が可能です（※1）
- Cyber Initiative Tokyo2024ステアリングコミッティへのご参加（※2）
- 登壇者や関係者が参加する招待制のレセプションパーティーへのご参加

プラチナ・スポンサー

- 本会議セッションでの単独ご講演枠（45分）をご提供いたします
- Cyber Initiative Tokyo2024ステアリングコミッティへのご参加（※2）
- 登壇者や関係者が参加する招待制のレセプションパーティーへのご参加

ゴールド・スポンサー

- 分科会セッションでのご講演（30分）をご提供いたします
- Cyber Initiative Tokyo2024ステアリングコミッティへのご参加（※2）
- 登壇者や関係者が参加する招待制のレセプションパーティーへのご参加

シルバー・スポンサー

- 本会議セッションでの単独ご講演枠（30分）をご提供いたします
- Cyber Initiative Tokyo2024ステアリングコミッティへのオンラインでのオブザーバー参加（聴講のみ）
- 登壇者や関係者が参加する招待制のレセプションパーティーへのご参加

※1ご登壇いただくパネルディスカッションは事務局と調整の上で決定させていただきます。

※2ステアリングコミッティへの参加可能人数には限りがございますので詳しくはご相談ください。



前回配信会場
日経ホール



前回配信会場
日経カンファレンスルーム

Cyber Initiative Tokyo 2024 タイムテーブル案

Day1		
時間	プログラム	配信会場
9:30	開場	
10:00 – 10:30	オープニングセッション	三井カンファレンス
10:30 – 11:15	主催者セッション①	三井カンファレンス
11:20 – 11:50	特別講演	三井カンファレンス
11:50 – 12:50	休憩	
12:50 – 13:35	プラチナスポンサーセッション①	三井カンファレンス
13:40 – 14:25	主催者セッション②	三井カンファレンス
14:25 – 14:35	休憩	
14:35 – 15:05	ゴールドスポンサーセッション①	三井カンファレンス
	ゴールドスポンサーセッション②	
15:10 – 15:40	ゴールドスポンサーセッション③	三井カンファレンス
	ゴールドスポンサーセッション④	
15:45 – 16:15	ゴールドスポンサーセッション⑤	三井カンファレンス
	ゴールドスポンサーセッション⑥	
16:20 – 17:05	主催者セッション③	三井カンファレンス
17:10 – 17:55	ダイヤモンドスポンサーセッション①	三井カンファレンス

Day2		
時間	プログラム	配信会場
9:30	開場	
10:00 – 10:45	主催者セッション④	三井カンファレンス
10:50 – 11:35	主催者セッション⑤	三井カンファレンス
11:40 – 12:40	スポンサーセッション	三井カンファレンス
12:40 – 13:10	休憩	
13:10 – 13:40	特別講演	三井カンファレンス
13:45 – 14:30	ダイヤモンドスポンサーセッション②	三井カンファレンス
14:30 – 14:40	休憩	
14:40 – 15:10	ゴールドスポンサーセッション⑦	三井カンファレンス
	ゴールドスポンサーセッション⑧	
15:15 – 15:45	ゴールドスポンサーセッション⑨	三井カンファレンス
	ゴールドスポンサーセッション⑩	
15:50 – 16:35	プラチナスポンサーセッション②	三井カンファレンス
16:40 – 17:10	特別講演	三井カンファレンス
17:15 – 18:00	主催者セッション⑥	三井カンファレンス
18:05 – 18:15	クロージングリマーク	三井カンファレンス
18:15	終了	

Cyber Initiative Tokyo 2024 ご協賛パッケージ

協賛メニュー		カテゴリー			
		ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー
		20,000,000	12,000,000	6,000,000	4,500,000
告知	日本経済新聞告知での社名記載	●	●	—	—
	HPでの社名・ロゴ記載	●	●	●	●
	日経お知らせメールでの社名記載	●	●	●	●
ステアリング コミッティ	開催前2回・開催後1回の合計3回実施予定のステアリングコミッティへのご参加（※1）	●	●	●	—
	ステアリングコミッティへのオンラインでのオブザーバー参加（聴講のみ）	—	—	—	●
本会議	タイトルスライド等への社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	プログラムへの社名・ロゴ記載	●	●	●	●
	セッション間での動画素材放映（15秒素材）	●	●	●	—
	本会議での単独ご講演（45分）	●	●	—	—
	本会議パネルディスカッションへのご登壇（1名）（※2）	●	—	—	—
	分科会セッション（30分）でのご講演	—	—	●	●
	登壇者や関係者が参加する「レセプションパーティー」へのご参加	●	●	●	●
	国内受講申込者一般来場者のリード提供（許諾が取れているもののみ）	●	●	●	●
採録	日本経済新聞 採録特集での全5段4色広告の掲載（※3）	●	—	—	—
	日本経済新聞 採録特集での全5段モノクロ広告の掲載（※3）	—	●	—	—
	日本経済新聞 採録特集での社名・ロゴの掲出（モノクロ）	—	—	●	●
	日経ビジネス内特集での社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	日経ビジネス内特集でのレビュー掲載	●	●	●	—
	日経ビジネス電子版での社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	日経ビジネス電子版でのレビューの掲載	●	●	●	—
	Nikkei Asia 広告特集（デジタル版）での社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	Nikkei Asia 広告特集（デジタル版）での英文レビュー掲載	●	●	●	—

※1ステアリングコミッティへの参加可能人数には限りがございますので詳しくはご相談ください。

※2ご登壇いただくパネルディスカッションは事務局と調整の上で決定させていただきます。

※3申し込み多数の場合、特集外の紙面での掲載となる場合もございます。

本プロジェクトの協賛費の一部をNikkei Asiaの購読ID費用に充当し、日本やアジアの学生向けに一定期間、IDを無料提供いたします。

スポンサー企業である協賛企業名を、学生・生徒への購読ID提供の案内メールに記載するため、**将来を担う若者に向けたブランディング効果**が得られます。



お茶の水女子大学での説明会

【ID提供の流れ】



※購読ID提供の対象となる学生は、学部や専攻等を考慮して日経が選択いたします。

① 単独講演のコンテンツ制作サポート

ゴールドスポンサー以上の協賛をご検討いただいている企業様が、「どのような講演内容にすれば聴衆に刺さるのかわからない」といったお悩みをお抱えの場合、日経・BPが有償でイベントテーマに沿った客観性や社会性を付与し、より注目をあつめるコンテンツ制作をサポートします。また、内容に応じた対談相手の人選をサポートいたします。

価格：2,000,000円（税別）

* お受けできる件数には限りがございますので、あらかじめご了承ください。

② アーカイブス動画編集

Cyber Initiative Tokyoは事後アーカイブス動画を後日、ノーカットで全編ウェブサイトにて公開いたします。このアーカイブス展開をより効果的に活用いただくため、別途料金にて貴社講演部分のダイジェスト版を制作。貴社のSNSやウェブサイトにおいて、二次利用いただき、息長くコンテンツを活用いただくことが可能になるメニューです。講演言語のみのダイジェスト版制作に加え、英語ないし日本語字幕をつけるプランもご用意しております。

制作物：貴社講演のダイジェスト版の編集・制作

* 尺は約3分を想定しておりますが、ご希望に応じて対応させていただきます。

データ形式：mp4（フルHD、ハーフHD）

価格：講演言語プラス英語または日本語字幕 1,000,000円（税別）

講演言語のみ（字幕なし） 500,000円（税別）

スケジュール／お問い合わせ

- 協賛申込締切（第一次） : 7月下旬
- 第1回ステアリングコミッティ開催 : 8月上旬
- 協賛申込締切（第二次） : 9月上旬
- 第2回ステアリングコミッティ開催 : 9月下旬
- プログラム確定 : 10月上旬
- 社告掲載/告知サイトオープン : 10月中旬予定
- Cyber Initiative Tokyo2024会期 : 11月26日(火)・27日(水)
- 開催報告掲載 : 2025年1月中旬以降随時

日本経済新聞社 グローバル事業 総合営業グループ
御厨直樹・田中裕太
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
Tel 03-6256-7311 Fax 03-6256-7854
Email naoki.mikuriya@nex.nikkei.com
yuta.tanaka@nex.nikkei.com

日経BP ソリューションビジネス企画部
中根由晴・久壽米木 僚
〒105-8308 東京都港区虎ノ門4-3-12
Tel 03-6811-8031 Fax 050-3153-7274
Email ynakane@nikkeibp.co.jp
rkusumeg@nikkeibp.co.jp